



# 6月新着本案内

2019年6月号  
愛知みずほ大学  
愛知みずほ短期大学  
瀬木学園図書館



**「学問からの手紙」宮野公樹著**  
学問の神様から手紙が届いたら、きっとこんな内容になる！として書かれた本です。大学で学ぶこと、学問の役割などを考えます。新進気鋭の学者が語る「学問って何？」。(002/Mi79)



**「子どもも大人も絵本で育つ」湯澤美紀著**  
赤ちゃんの育ちを発達心理学の視点を織り交ぜながら示し、「育ちのテーマ」に合わせて絵本が紹介されています。子どもだけでなく大人も素敵な絵本に出会えます。(019.53/ユ)

## ★「公認心理師分野別テキスト」シリーズ★

「保健医療分野」(146.89/Ko75/1)

「福祉分野」(146.89/Ko75/2)

「教育分野」(146.89/Ko75/3)

「司法・犯罪分野」(146.89/Ko75/4)

「産業・労働分野」(146.89/Ko75/5)

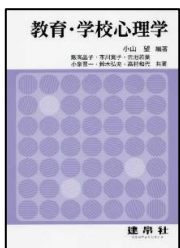
各分野の関係法規、制度や機関、施設、課題、そして多職種連携の中での公認心理士の業務について丁寧に解説されています。新しいシリーズです。



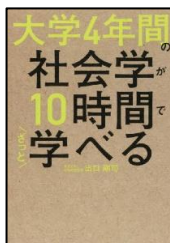
**「国境なき助産師が行く」小島穂奈著**  
国境なき医師団の助産師として難民救助の活動に参加してる著者。貧困・病気・女性の地位の低さなど難民の現実は厳しい！その中にある伝えたいこととは…。(329.36/コ)



**「仕事が楽しくなる働き方の7マナー」北條久美子著**  
働くなかで必要なのはマナーです。会社人生を楽しく生きるための「真実のマナー」をこの本が教えてくれます。(336.49/H82)



**「教育・学校心理学」小山望ほか編著**  
発達心理学の基礎から、教育現場の様々な心理的問題を勉強できます。学校におけるカウンセリングや学級心理学など新しい内容もしっかり網羅されています。(371.4/095)



**「大学4年間の社会学が10時間でざっと学べる」出口剛司著**  
社会学はビジネスシーンでの問題解決に役立ちます。社会学って何？とピンとこない人にほど読んでもらいたい1冊です。(361/テ)

## ★「あの子の発達障害がわかる本」シリーズ★

「ちょっとふしぎ 自閉スペクトラム症ASDのおともだち」

「ちょっとふしぎ 学習障害LDのおともだち」

「ちょっとふしぎ 注意欠如・多動症ADHDのおともだち」

(378.8/ア/1~3)

かわいいイラストで発達障害が解説されています。4巻以降も受入予定です。



**「キャリアアップに活かす！ 養護教諭のスキルラダー」中村富美子編著**  
「スキルラダー」とは養護教諭の「スキル(知識・技術)」を「職務別・段階別のラダー(はしご状)」で示したものです。(374.3/N37)



**「胃袋の近代」湯澤規子著**  
一膳飯屋、残飯屋、共同炊飯など都市の雑踏や工場の喧騒の中で始まった外食の営みが活写されています。「食」の視点から日本近代史が紐解かれています。(383.81/ユ)



**「人体はこうしてつくられる」ジェミー・A.デイヴィス著/橋明美訳**  
受精卵が細胞分裂し各器官が形成され、人体が完成するまでの過程と、成長し生命が維持される仕組みが解説されています。(491.2/テ)



**「土井善晴の素材のレシピ」土井善晴著**  
冷蔵庫にある素材で献立がすぐ決まる！何をしようか困ったとき、食卓にもう1品増やしたいときに最適な本です。野菜・肉・魚など素材別で300レシピが載っています。(596/ド)



**「オットー」トミー・ウンゲラー作/鏡哲生訳**  
ドイツで作られたテディベアの視点で、自伝のように描かれた絵本です。オットーやオットーの持ち主がどのような人生を過ごしていくのか読んでください。(726.6/ウ)



**「スポーツトレーニングの常識を超えろ！」日本トレーニング指導者協会編著**  
効果的なトレーニングを行うための理論・手法や、指導対象に合ったトレーニングの重要性が解説されています。(780.7/N77)



**「かなり気になる日本語」厚切りジェイソン著**  
普段何気なく使っているけれど、言われてみればなんかヘンな日本語に注目！著者が愛を込めて日本語をぶった切ります。(810.4/ア)

雨の季節は本の持ち運びに気を付けましょう！  
持ち運ぶ際は、ビニール袋に入れるなどして濡れないようにお願いします。図書館でも雨の日の貸出本はビニール袋に入れて渡しています。